

9月号

いっしん

令和元年(2019年)

第416号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

いかならむ
ことのあるとも
おどろかず
心静かに
祈りてぞ行け
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

甘木親教会 布教115年 記念大祭 令和元年 10月26日(土)・27日(日) 参拜27日(日) 午前6時出発



でき上がった、ハチドリつきの鉛筆立てを持ってパチリ！

鹿児島地方教会連合会主催

夏のつどい

開催される

八月十八日(日)薩摩川内市防災研修センター(薩摩川内市消防局内)において、鹿児島地方教会連合会主催「夏のつどい」親子ピクニックが開催され、鹿児島県下の各教会から二十五名の参加者がありました。加治木教会からも十名参加させていたいただきました。

午前十時三十分には防災研修センターに集合し、地震体験、暴風体験、水消火器消火体験、煙からの避難体験など、指導員の方の解説を聞き指導を受けながら、大変な施設で貴重な体験をさせていただきました。

地震体験装置では、震度三、震度五、震度七の揺れを体験させていただきました。震度七は、東日本大震災や熊本地震と同じ震度で、手すりにつかまっていけないと立っておれない揺れでした。

暴風体験装置では、風速三十メートルまで体験できましたが、やはり手すりにつかまっていけないと立っておれませんでした。
(スズメ)

連合会主催「夏のつどい」…P1～3
お知らせ…P9

加治木教会 祈願祭…P6～8
教会行事…P10

夏のつどい

開催される

鹿児島地方教会連合会 主催

水消火器消火体験は、子どもたちだけが体験していましたが、消火しなければならぬ火元を見つけたならば、先ず「火事だー!」と大きな声で皆に知らせることが大切であると指導を受けましたが、実際にはなかなか大きな声は出にくいようでした。「火事だー!」と発声して、消火器の安全ピンを抜き、燃え上がる天ぷら鍋の映像に向かって消火器の放水口を向けるのも、けっこうな緊張感が漂っていました。

そのような貴重な体験をしてお話を聴かせていただいた後、消防局の消防士の方が引率をされて、消防局を見学させていただきました。

現役の消防士の方によるご案内で、消防車や救急車類をはじめ、消防局に務められる皆さんの訓練施設、宿泊施設、火災を始め救急出動のための情報収集室など、丁寧な説明を聴かせていただきながら見学させていただきました。



震度7まで体験しました



指導員の方から震災体験も交えた説明が



オジサンたちは、平気そうですね!



揺れるのコワそう!



風速30メートル!



お父さん、火消えるかな?!



消火器使ったの、はじめて!

また、消防局三階の研修室でお昼のお弁当を頂かせていただきました。午後からは一階の研修室で、薩摩川内市防災研修センター体験を「自由研究」としてまとめることが出来る記入用紙への記入をして、さらに「ハチドリのひとしずく」という南米のアンデス地方に伝わる山火事を消そうと努める一羽のハチドリのお話をテーマとした、ペットボトル鉛筆立ての工作をしました。



消防車の説明をして下さいました



119番通報が届く部屋も見学しました



参加した小学生が、防災研修センター体験をまとめた「自由研究」と、ペットボトルを再利用した鉛筆立ての工作を夏休みの宿題として小学校に提出できるように計画が立てられています。



親子で工作、頑張りました！



夏休みの宿題工作も、なんとかできあがりしました！



「ハチドリのひとしずく」
 (南米アンデス地方に伝わるお話)
 森が燃えています
 森の生きものたちは われ先にと逃げていきました
 でもクリキンティという名のハチドリだけは いったりきたり
 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます
 動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います、クリキンティはこう答えました
 「私は、私にできることをしているだけ」



「ハチドリのしずく」鉛筆立てがカラフルにできあがりしました

※ホームページでは写真をカラーでご覧いただけます。(http://kajikikon.konjiki.jp/)

加治木教会 祈願祭

仕えられる

子どもたちの夏休みも本番となってきた七月二十八日(日)、加治木教会では祈願祭が仕えられました。

前日から準備の御用が進められ、二十八日も、参拝しやすい好天気に恵まれ祈願祭が仕えられました。

ご教話は、多良木教会長 梅木博光先生で、前講は加治木教会の四女矢野裕子先生で、現在福岡県東郷教会でアルバイトをしながら御用における頂いていることなどのお話がありました。

多良木教会長

梅木博光先生ご教話

(要点・要旨)

私は昭和二十六年生まれで、加治木教会のご布教の年の生まれです。

加治木教会は今年で六十八年を迎えられ、私も六十八才にならせていただきます。

このところ、血糖値が高くなってきました。そうなると、食前訓を唱えはしていましたが、ほんにありがたく頂いていなかったことを思います。

目の前に、パンや甘い美味しい物があっても、食べることができません。糖尿病のためによくないのです。糖尿病の人は、全国に二千万人くらいおられるそうです。

五月から薬を飲んで、六月に少し数値が下がりましたが、お医者さんが言われるには「治ったのではなく薬で抑えているだけです」ということでした。



梅木博光先生

そのため治療を続けなければなりません。

貧血や寒気や震えが起こることが

ありまして、初めての貧血の時に医者さんに電話して尋ねてみますと「低血糖ですから血糖値を上げる薬を飲んでください」ということでした。

この薬は、飲みすぎると血糖値が高くなりすぎ、反対派低血糖になるのです。

信者さんの話を聞いてみますと、けっこうおられます。それまで糖尿病と聞いても人ごとのように思っていたのですが、自分になってみるとよくわからせていただきます。

健康のありがたさを感じさせていただいています。

*

子どもたち四人、皆社会人とならせていただき次々に遠くに出て行きました。

一番下の娘が「お母さんが淋しいので地元に残ろう」と、高校から地元の肥後銀行に推薦していただき、就職させていただきました。

娘は、ほんとうは銀行には入りたくなかったそうですが、推薦試験だったので断るわけにはいかなかったそうです。

肥後銀行の仕事が始まりますと「日本経済新聞を読みなさい」ということで、これまで読んだことのない日本経済新聞を取ることにになりました。それで「毎日レポートを提出しなさい」ということなのです。

記事のひとつ切り抜いて取り上げ、その記事について「選んだ理由」「その背景」「今後の展開」などの感想を毎日レポートにして提出しなければならぬということなのです。

また、三百枚の偽造のお札を七分以内で数える練習もあります。「お父さんストップウォッチで測って！」と言ってやっております。

また、銀行には入社してからいろんな資格テストがあるそうです。「もう辞めたい！」と言うこともありません。

しかし、あるとき熊本市の本社から頭取という方が来られ「お茶を出しなさい」と言われ、出しますと支店の方が「この子は多良木高校最後の卒業生で（他校と合併のため）」と紹介されますと、頭取が「仕事は楽しいですか？」と尋ねられると、ほんとは楽しくないのに「ハイ楽しい

です」と答えたと言ったということ、かわいがってもらっております。

*

長女は三重県の観光会社に就職して、結婚させていただき、一人目は七ヶ月の死産でした。

また二人目をおかけ頂きまして「早産の気がある」ということで、また、心臓の血管が細すぎる問題があるということでした。

一九〇〇グラムで生まれ、心臓は良かったのですが、鼻の穴が二つとも通っていないということなのです。いまだに病院に預かってもらっています。

手術は体が小さすぎるのでできないということ、四〇〇〇グラムに成長するまでできるそうです。それも大病院でされるそうです。

今は、喉に穴をあけ栄養を入れ、口からは呼吸だけができるようにしてあるそうです。三八〇〇グラムまで増え、八月下旬に手術ができるということなのです。

今は、そのようないろいろな問題を持って生まれてくる子が増えているそうです。

神様は、そのことを通して娘たちの信心を深め進めてやろうとして下さっていると信じます。

親先生にお取次ぎ頂きながら取り組ませていただいております。

すべて神様のお計らいですし、神様は無駄事はなされません。

このことを通して、娘の信心、また末信奉者である婿の信心を深め育てて下さっていることであろうと思えます。

(教話のCDを希望される方は教会まで)



矢野裕子先生 前講（全文）

加治木教会 祈願祭にて

皆様おめでとございます。

ただ今は、加治木教会の祈願祭が
仕えられまして、ともどもにおかけ
を蒙らせていただき有難いことご
ざいました。

しばらくの間、前講のおかげを蒙
らせていただきます。

先月（六月）一日付けで金光教の
教師に輔命をいただきまして、ただ
今は福岡県宗像市にあります東郷教
会にてお世話になっております。

東郷教会では、教会の御用をさせ
ていただきながらアルバイトをさせ
ていただいております。

今日は、そのアルバイト先であつ
たことをお話させていただきました。

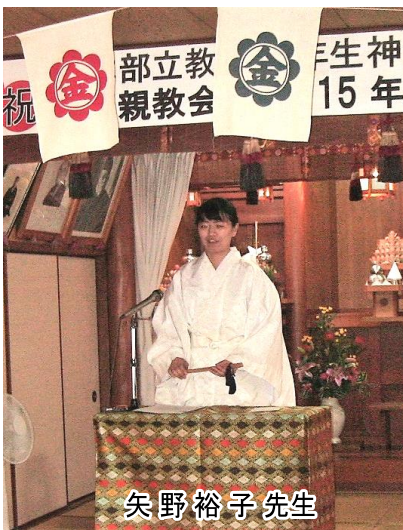
アルバイト先は、ある食品工場で、
けっこう大きな工場です。

そこではいろんな人がいるのです
が、その中に実習生という外国人の
方がたくさんいます。同年代くら
いと思われる外国人の方から、ある
日名前の由来を聞かれました。

まず、外国人の人たちが日本人の
名前に由来があることを知っている
ことに、驚いたと同時に少し嬉しく
も思いました。

その外国人の方に「裕子という名
前はどういう意味なのか」と尋ねら
れましたので裕という字の意味に
「空のように広い心」ということが
ありますので「空のように広い心
の持ち主になれ」という意味があるん
ですよ」と答えました。

そう尋ねてきたのは男の子だった
のですが、そのこの名前はアジプー
ということ。「その名前にはどうい
う意味があるのですか」と尋ねると
「驚く、びっくりするという意味が
あるよ」と答えてくれました。



矢野 裕子 先生

その時、近くにいた子たちにも名
前の意味を尋ねてみますとアジプと
アジトという子がいます。その二
人は同じ意味ということでした。

そうして、ピカシユという子がい
まして、その意味は「毎日頑張る人」
ということでした。

確かにアジプとアジトという子は、
日本人でも驚くような気の利く子で、
日本人のアルバイトよりも仕事ので
きるのではないかと驚かされるくら
いです。

もう一人のピカシユという子は、
人をおちよくるような少しお調子者
のようなことで、毎日楽しませても
らっています。

その子は、ネパールに奥さんと子
どもを置いて、日本で毎日頑張っ
ていて、ほんとに名前の意味の通りだ
なと思わせていただいております。

私の「裕子」という名前を付けて
くれたのは、今お世話になっており
ます東郷教会の津上繁子姫之霊神様
で、私の実の祖母でございます。

繁子先生と呼ばせていただきます
が、名前と言うのは、私自身が思い
ますのに、人が世に生を受け初めて

人からかけられた願いがあるのではないかなと思います。

繁子先生が、私にどういった願いをかけたか、それは字の通り「空のように広い心の持ち主になるように」と願っているのですが、私は小さいころにその意味を知ってから、何か事あるごとに、人に嫌なことを言われたり、されたりした時にも名前のおかげで「へい やいや広い心を持つと、広い器になろう」と思って、笑って流せる、相手を許すという心をその名前から頂いたと思うようになりました。

一人ひとりに願いがかけられているといいますが、やはりこのお道にご縁を頂いている、皆様一人ひとりにも、もちろん願いがかかっておるわけでありませう。

親神様が自分自身にどんな願いをかけておられるのか、まだまだ私自身の信心が浅いのでわかりませんが、自分自身が「へようやく金光教の信奉者になれたのかな」と思いましたのが昨年の十一月で、まだまだであり、御祈念させていただく中で少しずつ神様から分らせていただいたり、

探し求めている最中です。

ですが、このお道がどういうお道であるかと言うことを見させていただきますと、皆さんこのお道を信心されておられるのでご理解されておられることと思います。「私自身が助かる道」であり、また「親先祖が助かる道」でもあります。

そして次に「自分たちの次の代が助かる道」言い換えれば「孫子の代が助かる道」で、その助かりというものも「親神様のご神徳をもって助かる道」であります。

私自身東郷教会にお世話になりながら、いつも祖母がどんな願いをかけていたのか、どうしたら祖母の願いにかなう生き方ができるのか、継らせていただきながら、祖母が付けて下さった名前の意味の通り「空のように広い心」で、このお道のご信心を私自身、ちょっと大げさかもしれませんが、ネパールの人達とつながってお話する中でも、世界中に広めていきたいなと願わせていただいております。

また、自分の心の中にある神様は、不平不足や我情我欲により心の中に

毒ガスが溜まり、その毒ガスが心の中に充満してしまつと、わがこころに住まう神様が死んでしまうのです。その毒ガスを取り除くためには、不平不足や我情我欲を去り、お世話になつてくれるものに御礼を申す。そうしますと心の中が綺麗になり、そこにわがこころの神が住まうわけでありませう。

お世話になつていらっしゃる人や物に感謝しながら、心の中を綺麗にさせていただき、神様とつながらせていただき「神と人をつながる生き方」を私自身、現わさせていただき、皆様とともにご信心の成長をさせていただきます。と願っております。

(おわり)





バンド隊練習
はじまります！
練習日時は、
随時連絡します。

この写真は、5年前の、甘木親教会布教110年記念大祭の演奏会です。
甘木親教会の出社・関係教会から、数十名が合同で演奏させていただきました。
加治木教会からは、9名参加させていただきました。



親神様・霊様方の、
お恵み・お祈りがあつ
ての私たちです。
親神様・霊様方がお喜
びになられご安心され
るよう、バンド隊の
練習をご用意・信心の
けいことして取り組
ませていただきましたし
よう。

親神様がお喜びに
なられるよう、お役に
立たせていただき、
お互いを思いやり、
協力し合い、助け合う
演奏をおそなえさせて
いただきますよう。
元気な人もそうでない
人も、若い人もそうで
ない人もいっしょに心
を合わせた演奏をおか
げをこうむらせていた
だきましよう。

**練習のおかげを
蒙らせていただいて、**

**10月27日(日) 甘木親教会布教115年記念大祭 演奏会
とともに、おかげを蒙らせていただきますよう。**

お誕生おめでとうございます

八月七日、畠中大輔さん朋子さん
 (旧姓松田・吉屋照子さん孫)ご夫婦に、
 長男来幸(らいき)くんが誕生されま
 した。お健やかなご成長をお祈り申し
 上げます。



少年少女全国大会

「まごころ運動」の結果

皆さんの真心のこもる
 ご協力のおかげで

折り鶴 一四七〇羽
 鉛筆 一六本

集まりました。
 少年少女全国大会の
 わかば祭におこなえさ
 りました。
 ありがとうございました。



折り鶴の糸通し 7/31・8/1

あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (日) 少年少女全国大会 遥拝
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(天神金光 併せて) 10時半
- 16 (金) 17 (土) 甘木親教会 婦人教師会
- 18 (日) 連夏のつどい 10時半
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭(天神金光 併せて) 共励会 13時半
- 31 (土) 清掃御用 10時

九月のご霊神様のお立日

九月

中島時彦之霊神	昭和62・09・02
平島信彦之霊神	昭和20・09・03
前田満之霊神	昭和42・09・03
庄村ミサ之霊神	昭和42・09・05
桐野仲太郎之霊神	昭和10・09・09
汰木スエ之霊神	昭和55・09・12
大重為廣之霊神	昭和24・09・22
汰木節夫之霊神	平成27・09・22
西本ハル子之霊神	平成17・09・25
桐野整之霊神	昭和45・09・28

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんさせて
 いただき、お礼を申し上げます。教会では、
 十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備
 しています。

編集後記

今年の、第七十二回少年少女全国大会に、
 加治木教会の少年少女会員の参拝は、希望者
 がなく遥拝させていただきました。
 今年、教師にお取り立ていただいた教会の
 四女裕子さん(先生だけが、年代別キャン
 プのスタッフとしておかけを蒙らせていた
 きましたので、まったくのセロ人ではありま
 せんでしたが、来年の「いっしん」9月号の
 表紙には、少年少女全国大会での記念写真が
 まだ掲載できるよう、ともどもにおかけを蒙
 らせていただきました。

九月十四日(土) 14:00 ~ 十五日(日) 11:00

九月十四日 午前七時半 出発

甘木親教会

信徒の集い

九月二十三日(祝) 十時半より

秋季霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。

(霊祭申込用紙、「記入の上御結界へお届け下さい」)

九月二十八日(土) ~ 二十九日(日)

立教一六〇年記念

御本部生神金光大神御大祭

交通機関：マイクロボス
宿泊先：光風館
旅費：一、二〇〇〇円ほど

参拝

十月二十七日(日)

午前六時出発予定

甘木親教会

布教百十五年

記念大祭 参拝

教会行事

9月

1 (日) ●月例祭(報徳) 10時半

9 (月) 清掃御用 10時

10 (火) ●月例祭(生神金光 併せて 大神様 月例霊祭) 10時半

14 (土) ~ 15 (日) 甘木親教会「信徒の集い」

21 (土) 清掃御用 10時

22 (金) ●月例祭(天地金 併せて 乃神様) 共励会 13時半

23 (祝) ●秋季霊祭 10時

28 (土) ~ 29 (日) 御本部(生神 併せて 金光大神) 御大祭参拝

《未定行事》少年少女会・青年会・若婦人会

※10月1日の月例祭は御本部参拝のため10月2日に変更いたします。

10月

1 (火) 清掃御用 10時

2 (水) ●月例祭(報徳) 併せて 教祖ご生誕祭 10時半

9 (水) 清掃御用 10時

10 (木) ●月例祭(生神金光 併せて 大神様 月例霊祭) 10時半

12 (土) 人吉教会御大祭 11時

21 (月) 清掃御用 10時

22 (祝) ●月例祭(天地金 併せて 乃神様) 共励会 13時半

26 (土) 甘木親教会布教115年記念大祭第一日

27 (日) 甘木親教会布教115年記念大祭第二日

上荒田教会御大祭 11時

31 (木) 清掃御用 10時

《未定行事》少年少女会・青年会・若婦人会

★加治木教会御大祭は11月17日(日)です。

※取組表に取り組まれた方は、お早めに教会までお持ちください。全教まとめて、全国信徒会の代表が金光様にお届けされます。

加治木教会 バンド練習会

〈練習日時は追って連絡します〉

十月二十七日(日)の、甘木親教会布教百十五年記念大祭バンド演奏に、今日までおかげを蒙らせていただいている御礼の真心を現わさせていただきます。よろこびます。

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
車に乗る																																
朝の日参り																																
食事訓																																
水を使わせる																																
便、排泄																																
健康も																																